

作成日	2019 年 7 月 3 日
学科・専攻名	院・心理学専攻

教育課程・学習成果

1. 教育課程編成・実施の方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。

【現状説明】

学士課程での学修を基礎として、高度な専門性を身に着けることのできる教育課程を体系的に編成している。心理学の諸領域や実証的な研究手法について、あるいは臨床心理の技法について高度な専門的知識を修得できるよう、各科目の連携・関連を図り、体系的な教育課程を編成し実施している。実証的研究の基礎を学ぶことを目的として、初年次において理論教育を行い、2 年次において演習や実験、研究指導を通して科学論文への実践的取組みを行っている。加えて、臨床心理学領域においては、将来、公認心理師として心理支援の現場で十分に活躍できる人材を育てることを目標とし、1 年次後期から多くの演習および学内・学外実習科目が展開されている。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

公認心理師の社会的需要拡大に対応するため、2018 年度より公認心理師法に定められた科目を加えたカリキュラムを構成した。

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

2. 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための措置を講じていますか。

【現状説明】

シラバスにおいて、授業の到達目標、授業の概要、授業計画、評価方法、授業時間外の学習、学生へのメッセージ、教科書・参考書の明示、京女 AL 区分などを明記し、学生が主体的に学習するように設定している。またコースワークとして、講義科目、演習科目、実習科目を設置しており、大学院生はこれらの履修を通じて、修了に必要な単位を取得している。また、論文作成にあたっては個別指導を行ない、修士論文中間報告会や、学会・研究会での発表を通して、リサーチワークによる指導を行なっている。加えて、臨床心理学領域においては学内・学外における実習指導が行われている。また、ティーチングアシスタント制度によって、院生は授業の準備や後輩の指導補助を行うことで自らの学習到達度の確認と指導スキルの向上を図っている。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし

3. 学生の学修成果を把握し、教育課程及びその内容、方法の適切性についての点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに教育の質向上に向けた取り組みを行っていますか。

【現状説明】

教育課程及びその内容、方法の適切性については、「大学院アンケート」を基に、専攻内 FD 活動として専攻会議で検証している。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし。

教員・教員組織、FD

1. 教員組織の編成(募集・採用・昇任等)にあたって、職位構成および年齢構成の偏りに配慮した編成をおこなっていますか。また、カリキュラムに基づく教員組織となっていますか。

【現状説明】

本専攻の2018年度における専任教員数は10名、年齢構成は60代4名、50代3名、40代3名で、男女比は男性6名／女性4名、教授6名、准教授4名という構成で、指導教員の確保も含めてバランスの取れた配置と言える。また、専攻としてのカリキュラム・ポリシーを踏まえ、心理学領域、臨床心理学領域で構成される教育課程・開講科目に対し、実験心理学、認知心理学、教育心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学等を研究分野とする教員を配置しており、担当科目と研究分野が整合する形となっている。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

教員の年齢構成にやや偏りがあるため、今後若い教員の採用を検討する。

2. 学科・専攻独自のFD活動を実施し、教員の資質向上に取り組んでいますか。

【現状説明】

教育活動(授業の分かりやすさ、履修指導、学生の意見のフィードバック等)に対する学生の満足度については、「大学院アンケート」を基に、専攻内FD活動として専攻会議で検証している。大学院教育に対する独自FDは実施していない。今後、独自FDを通じて、公認心理師教育の在り方や指導方法についても質の向上を目指す必要がある。

【成果および向上施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善施策】※無い場合は「特筆すべき事項なし」と記入。

大学院教育に関わる独自のFDを実施する。

内部評価委員会からの評価結果（内部評価結果レポート）

一般的なコメント（総評）
新しく設けられた「公認心理師」に対応するカリキュラム改編をいち早く行った。今後に期待される。
改善勧告コメント（具体的な改善の指示）

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見